

令和 8 年地域井戸端会 報告書

開催日時	令和 8 年 5 月 16 日(土)10 時 00 分～12 時 00 分		
開催場所	都川まちづくりセンター	参加人数	14 人
出席議員	岡本正友・遠藤佑之・小川稔宏		
テーマ別に 出た意見	【総務委員会】防災と避難行動計画について ～災害が起きたらどうしますか？自分と家族を守るための行動～ ・ 6 月 25 日に自治会主催でまちづくりセンターと一緒に避難行動をする。 ・ 避難時に防災倉庫の備蓄品が使えるよう紹介を兼ね段ボールベッドやエアーマットを作ってみたいのをお願いしたい。 ・ 58 災、60 災、63 災と連続で水害があった。都川川があり奥の坂本川などから流れ込み八戸川へ流れる。ここは川があり、道路があり、山は V 字カットになっていて避難する場所もない。 ・ 経験を踏まえて、まず一番安全なのが我が家で、まず動くなと言われてきた。ここに集まるにも、橋を渡って来なければいけない。58 災の時には 3 つの橋が全部流出した。このセンターができて 20 年、ここに避難したことはあんまりない。6 年前に避難してもらったが、我が家が心配だから夜中に帰りたいという方もおられ送った。まず動くなということが目標。 ・ 消防団は有事には管轄が変わり消防組織からの命令がないと動けなくなるので、民生委員など、近くにおられる方をお願いし率先して動いてもらうしかない。昼間に警戒レベルが上がった時には、消防団員が地元に住んでいる場合がある。 ・ 要支援者の名簿もここで管理している。一人暮らしで川の向こう側におられて避難できない場合は自宅待機してもらうしかないが、レベル 3 の段階でこの家は危ないとなると、自治会長の判断で迎えに行ってここへ連れて来れるようにしている。 ・ 避難場所が一応あるものの携帯電話が圏外で使えない。何		

	回か言ったが、費用がいることで大変だとは思いますが市議会でも言ってほしい。
	【文教厚生委員会】 子どもや高齢者の暮らしの困りごと ・「あいのりタクシー」は各自治会で運営しているが、私たちの所属する会は旭町内全体には会員はいても、都川だけの人数では少なくて使えない。都川地区の者同士ではなく旭町内全体で使えるようにしてほしい。都川地区だけで2人以上での利用が難しくて使えないというのが共通した意見。 ・平成 17 年に廃校になった都川小学校は耐震性の問題で再利用はできないということで平成 30 年解体予定だったが、令和 2 年、今度 4 年、今では、令和 9 年（2027 年）解体予定と 4 回、5 回延びている。小学校跡地の使い道を地域住民で話をして出せと言われてもいい案はなくどうなるのか。 ・子供の数 5 名。3 名世帯と 2 名世帯が隣近所のため、親の負担は少ないのでは？通学バスは家の前まで来ている。子供が地域から減って寂しい。皆、他地区へ出ていく。結果、地域がさびれていく。

	【産業建設委員会】100年先に残したい浜田の食 ・嫁に来た時は、アユがすごくいて都川のアユは有名。干して夏にも使っていた。 ・昔からアユ料理としては塩焼きと、干しアユがほとんど。 ・みんなに食べてもらうのに干したのを甘露煮にしていた。 ・今は、生のまま甘露煮にすると骨もボロボロになって結構いける。 ・アユの内臓「ウルカ」は昔、おじいさんが家で作っていた。熱いご飯の上に載せる。 ・アユを背開きにして中骨を取って南蛮漬けにするとおいしく評判がいい。 ・ヤマメは放流するが、もっと上流、支流にはイワナの亜種「ゴギ」がいる。天然で昔からいるが農薬の影響で数が激減した。人のいない田んぼより上流でないと釣れない。100年先にも天然のゴギが釣れたらいい。
自由意見	【総務委員会】 ・市長と議員全体で誘致活動を推進してほしい。 ・携帯電話及びラジオの通じないところがある。 ・砂防ダムの体積土の処分を早くしてほしい。 ・河川の廃土処分を早くしてほしい。

	【文教厚生委員会】 ・都川から重富へみんな買い物などに行く。都川には店がない。しかし、道はぐにゃぐにゃで離合できる場所も少ない。いつまで経っても舗装が進まない。 ・雪が降るとすぐに通行止めになるが、生活道路なので困る。 ・相乗りタクシー各自治会で運営。町全体で利用が出来ない。 ・地区外の方と乗り合いができるようにしてほしい。 ・都川小、H17年に廃校。再利用ができないか？使い道を出せと言われたが良い案が出ない。
	【産業建設委員会】 ・冬場、大雪が降った時に除雪が遅い。もう少しスムーズに除雪ができないのか。 ・道路の真ん中に石ころが落ちていてもそのままになっている。浜田市の黄色の道路パトロールで石ころを取ってもらうことはできないのか。 ・林業の伐採でほとんどの業者は大型重機で山に入って切るので、雨が降ると清流に土砂が流れ込み、田んぼにも土砂が入る。雨が降るたびに濁り、田んぼの用水を取る水路が変わり水源地が少なくなるなど環境がある。山の崩壊に対してもっと規制をかけてほしい。 ・松喰い虫被害。県道・市道の法面に松喰い虫による枯れ木が増えている。最近では古い木だけでなく若木にも入り山がみるみる赤くなる。傾いた木が台風や大雨で倒れ市道を塞ぐ恐れがある。地主が整備しなければいけないものか、それとも市で危険木の処理はしてもらえるのか聞きたい。 ・都川から峠までは市道「柏尾谷線」、頂上から重富が市道「戸地ヶ谷線」で地域からアクセス道路として市道改良の要望を出している。進捗状況は年に20mから50m程度で、あと20年ぐらいはかかる。峠までいったら今度は向こうからやるという約束だった。買い物、高齢者施設への

	見舞いや重富のバスストップからの高速バスの利用など非常に出入りの多い路線である。予算も減っているが工法の問題と予算配分の問題を検討し早く前に進めてほしい。合併条件に出ていた路線で優先順は一番の重大な約束事だった。以前の座談会でも話をし、要望も出しているが回答はない。 ・和田からと坂本からの県道が合流する旭支所前からの 40 キロ制限の狭い道路は雪を掘るのも大変、大型車の離合も難しく危険で死亡事故も起きている。バイパスも考えた道路改良を市から県へ要望し、優先順位を確保してほしい。 ・クマの緊急銃猟について市の農林で全国的な資料を取り寄せマニュアルを作り説明するということだが、我々ハンター（猟友会）には全然相談がない。ハンターの意見を全然聞かずに作った緊急捕獲マニュアルを「これをお願いします」と言われても拒否すると伝えてほしい。
--	---